



藤井さやか
Sayaka Fujii

土地利用研究室(藤井ゼミ)

Land Use Lab. (Fujii Laboratory)

Keywords: 都市計画、まちづくり法制、住環境整備、地区まちづくり、住宅地再生、社会的包摂、地域拠点、居場所、人材育成、外国人居住、スマートシティ、社会的起業、ネイバーフッド・マネジメント

研究室の目標

人々が愛着を持ち、いきいきと暮らせる、持続可能で包摂的な都市の実現を目指しています。建物・公共空間などの都市環境と、住民・地域コミュニティ・社会的弱者などの社会的環境を統合的に捉え、資料分析、現地踏査、観察調査、住民意向調査、行政・地域団体・関係者調査を組み合わせ、都市課題を多面的に分析します。実務や現場の経験を根拠ある知見として体系化し、合意形成や意思決定を前に進め、課題解決や地域価値向上する都市計画・まちづくりを設計・運営・評価できる人材の育成を行います。

都市計画制度の効果的活用

都市計画制度は良好なまちの形成・継承に貢献しているか。市民の意向を適切に反映できているか。

- ・地区まちづくりルールの効果的活用
- ・高齢化・空き家化する住宅地の再生
- ・超高層住宅地の規制緩和・公共貢献
- ・高度地区・開発許可等の実態と課題
- ・ネイバーフッド・マネジメントの促進



社会的包摂・共創コミュニティの実現

安心して過ごせる場(社会的包摂)と多様な人が特性を活かして活躍できる機会(人材育成)を提供する「社会的インフラ」をどう実現するか。

- ・多様な人と機会に「つながる場」の意義・課題
- ・居場所づくりの実態を踏まえた支援策の検討
- ・外国人集住地区の現状と多文化共生の実現
- ・スマートシティの社会実装に向けた地域課題理解と産官学民協働のプロセスデザイン



代表からのメッセージ

博士課程は、実務・現場の経験を暗黙知で終わらせず、再現可能な実践知として社会に返す学びの時間です。研究室では様々な実践者と連携した研究会・意見交換を行っています。現場起点の問いを、学術として鍛え、都市計画・まちづくりを前に進める研究と一緒に取り組みましょう。